

出向く 営農レポート

豊明地域 新野菜 カリフローレ編

産直所などで
販売中!



豊明地域担当
青木 崇史

JAあいち尾東の新たな特産品でもある「カリフローレ」は豊明地域から栽培が始まり、今年で4年目を迎えます。今年からはより多くの方に食べてもらえるよう、長期間の出荷を目指して農家同士で定植時期をずらしながら栽培に取り組んでいます。



11月上旬から出荷できるよう8月上旬に定植した石川博正さんの畑です。台風被害を受けながらも10月下旬にここまで大きくなりました。この時点ではカリフラワーと変わりませんが、ここから10日ほどでカリフローレの特徴である茎がぐっと伸び、収穫を迎えます。



11月下旬から出荷できるよう8月下旬に定植した近藤豊さんの畑です。花蕾は500円玉大程の大きさで、ここから20日ほどで収穫を迎えます。



今年からカリフローレの栽培を始めたにながわみひら蜷川文衛さん。蜷川さんのカリフローレは12月から出荷予定で、葉の色や大きさを確認し順調に生育していました。また今年ハスモンヨトウ(※)の発生が多いため防除をしっかり行うよう依頼しました。



2月下旬から出荷予定の畑は10月下旬に定植し、根付いたばかりです。

気温が低くなくても防除は欠かせずに行います。



※ハスモンヨトウ防除に関する情報はP17農業の豆知識をご覧ください。